

【草津町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本町では、草津町教育振興基本計画において「子どもたちは町の宝」という考えの下「ぬくもりや、きめ細かさ」を大切にしながら、教育行政の歴史を重ねてきた。

今後もICTを活用しながら、予測が困難な時代にもしなやかに対応できる人材を育成し、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

国のGIGAスクール構想を受け、本町では、令和2年度に町立小中学校2校の児童生徒に対し、計355台の1人1台端末の整備を完了するとともに、高速通信ネットワークや無線LAN環境の整備を行い、ICTを基盤とした新たな学びの確立を進めてきた。

端末補償サービスの加入により、故障時には迅速に修理を発注することができ、代替機として常に予備機を付与できる環境を整備した。

また、Webフィルタリングソフトを導入し、家庭への持ち帰り時におけるセキュリティを確保するとともに、インターネット環境が未整備の家庭へは、モバイルルータの貸し出しを行った。

今後も、学びの基盤としてのICTの有効活用の在り方を研究していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

スタディログ等のデータ活用による生徒の興味・関心や習熟度に応じた個別最適な学びや、デジタルツールによる共同制作やリアルタイムでの意見共有を通じた協働的な学びを推進することで、1人1台端末を活用したより深い学びを実践していく。

また、端末の家庭への持ち帰りを奨励し、家庭学習や保護者との連携を強化するほか、校外学習や地域活動においても端末を活用し、実地での情報収集や発表に役立てる。

ICT活用は学びの質や学びの転換（学び方や教師の指導・支援）に大きな影響を与える。端末を使うこと自体が目的化しないよう、学びを深めるための手段として位置づけ、ICTを使う目的を常に明確にし、授業の中でその利点を生かせるように、ICT活用の意義とその効果を十分に理解しておくことが大切である。